

【目的】

- 1.看護補助者の役割を自覚し、補助業務の統一を図る
- 2.看護師との協働・連携を基本姿勢とし、看護チームメンバーの役割を果たす

【目標】

- 1.看護補助者業務に必要な知識・技術を習得し、日々の業務に活かすことができる
- 2.看護補助者として自覚し、責任ある態度で業務に臨む
- 3.患者・家族に対する自己の関わりを振り返り、今後のケアに活かす

テーマ	到達目標
感染予防 *各部署にて確認	感染症の基礎知識を基に感染予防策が実施できる ・手指衛生と医療廃棄物の取扱い（リネン、消毒、器材等） ・清潔・不潔について理解し対応できる ・隔離患者対応及び病室の環境整備
安全な療養環境 *各部署にて確認	レベルⅠ看護補助者が、日常生活援助業務を基準・手順に沿って実施しているか確認できる ・食事、排泄、身体の清潔の援助等 ・運動・移送に関する世話 ・安全・安楽に関する世話 *看護補助者業務技術側面評価チェックリスト（レベルⅡ）達成度確認
緊急時における看護補助者の対応	院内で起こりうる緊急場面での対応を取得する ☆医療事故と予防策（転倒、誤嚥、チューブ抜去、骨折等） ☆患者急変時の看護補助者の役割・対応について
医療事故と予防策について(GW)	高齢者に起こりやすい事故について学び、看護補助者として患者の安全について考える 転倒・転落、皮膚損傷、脱臼・骨折など ヒヤリハットした場面（事例検討） 学習方法：グループワーク
日常生活援助行為の振り返り	自分の体験を基に振り返る 一人1事例を提出、その中から一つ選び検討する （悩んだこと、ジレンマを感じたこと、反省したこと等） ☆倫理上の問題について考える
看取りについて	看護補助者として、死を迎える患者・家族への対応を学ぶ 患者の思いに寄り添うとは？ 臨終時の心構えと対応 エンゼルケアの目的とポイント
認知症患者の対応	認知症患者に応じた（個別な）対応方法が見いだせる *インターネット動画（BA2018）活用
褥瘡とスキンケアについて	褥瘡ケアにおける予防の必要性を理解する（体位交換含む） スキンケアの発生しやすい患者への対応（観察、手技）事例等
労働安全衛生	労働安全衛生の基本的知識 *インターネット動画（BA2004）活用